

管内の特徴的な活動事例（共同活動・営農活動支援）

管内の広範な地域において、農業者だけでなく多様な主体の参画を得ながら、農地・農業用水、農村環境の保全を契機とした新しい地域コミュニティの活動が取り組まれています。また、環境への関心が高まる中で、管内の多くの地域において減農薬などによる環境にやさしい農業の展開がなされています。

学校教育と連携した 地域の環境学習

「石川県加賀市 加賀三湖地区」

地域の小学校と連携して、水路の生き物調査を実施しました。その際、子供たちに昔の環境と今の環境の変化について学んでもらおうと、水土里の語り部会も併せて実施しました。

子供たちは、生き物調査の結果を保護者参観や地域の催しの際に発表し、地域住民とともに地域の自然環境について理解を深めています。

今後は、小学校の年間を通した環境学習として授業のカリキュラムに取り入れられるよう環境保全団体等との連携の強化を図っていきます。

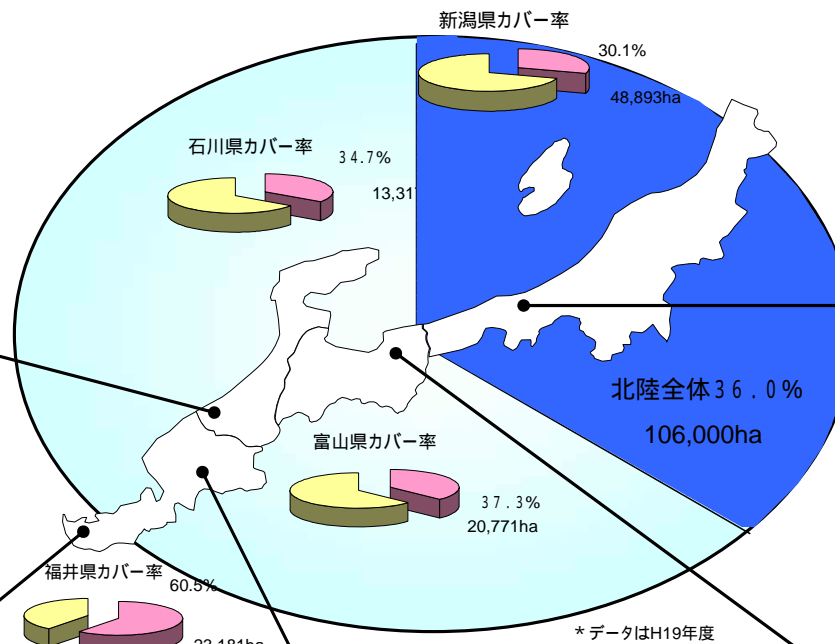


地域を守るヒーロー 『機械・土木作業チーム』

「新潟県上越市 大潟地区」

活動区域が広範囲であることから、効率、効果的に施設の保全を図るため、若手農業者からなる機械作業チーム及び土木技術をもつ構成員からなる土木作業チームを編成し、施設の補修・改修を自主施工で行っています。

これまでに、農道の不陸整正・舗装、ため池堤防や排水路の補修等を行ってきました。自分たちできることは自ら行う、施設を長持ちさせるためのきめ細やかな対応の体制づくりを心がけています。



コハクチョウが飛来する環境づくり

「福井県若狭町 下吉田地区」

ラムサール条約湿地（水鳥の生息に重要な湿地）の三方五湖に隣接することから、コハクチョウが飛来する環境づくりとして冬水田んぼを実践しています。

また、河川と水田を連結し多様な生物の生息場所を確保するため、水田魚道（つづら方式の木製魚道また竹の節を活用した魚道等）を設置しています。

来春には水田魚道から多くの魚が水田に遡上することを地域一同期待しています！



地域資源連結循環型農村を目指して

「福井県池田町 池田地区」

池田町全体で活動組織を立ち上げ、地域資源連結循環型農村を目指して、町民全体で「食リターン事業」や「菜の花プロジェクト」などの環境への負荷の少ない活動に取り組んでいます。

「食リターン事業」とは、家庭から排出される生ゴミを回収し、堆肥として利用するものです。この堆肥を活用し、消費者や生産者、田んぼの生き物などの自然環境全てに配慮した「生命に優しい米づくり運動」等の化学肥料や農薬をできるだけ使わない農産物の生産を推進しています。また、生産された農産物は池田町アンテナショップにおいて販売しています。

生ゴミ等地域の資源を使った堆肥を活用し、土づくりを推進



町独自の認証制度を作り、化学肥料や化学合成農薬をできるだけ使用しない農業を実践



技術研修会の開催

池田町アンテナショップ「こっぽい屋」においてブランド化による有利販売



法面緑化の実証試験

「富山県黒部市 浦山12地区」

中山間地特有の長大法面の除草作業の軽減及び危険性の回避を図るため、法面緑化を実施することにしました。より効率的、効果的な取組とするため、植付方法、防草シートの比較試験に取り組んでいます。

今後、試験結果の経過に注目し、手間と費用を軽減した雑草抑制効果の高い法面緑化の普及に努めていきます。



法面が綺麗になり、管理も楽になったと喜ばれています。また、参加者間の交流にもつながっています。